

31年度 下半期 保育参加(アンケート結果)について

<主旨として>

- ・日頃の保育の様子を見て頂き一緒に参加して頂くことにより、家庭での育児にも繋げて頂きたいという思いで進めている。また、日頃保護者の園に対しての思いを(環境面で感じた事・気付いた事)記入して頂く。
- ・提出して頂いたアンケートを基に園として改善出来ることがないかなど振り返りをする資料として利用する。

<下半期> 10月～2月迄 回収率 39家庭(複数回答有り)

参加数：もみじ組：1名 ゆり組：4名 たんぽぽ組：6名

わかば組：8名 すみれ組：10名 ふじ組：10名

①保育内容について・・・45%

・子どもたちが楽しく過ごしているのを見られて良かった	12
・他の子どもたちと一緒に遊ぶことができて楽しかった	9
・集団の中でどのように遊んでいるのか知ることができ、良かった	8
・遊ぶ内容が前回よりも高度になり、日々の成長を感じた	6
・子ども一人ひとりの様子に気づき、保育教諭がよく見ているので安心した	5
・体育遊びをとっても楽しんでいて、子どもとの接し方や遊びの提供が良かった	5
・子どもたちをまとめ、保育していることに凄いと感じた	4
・自分の子どもの成長を感じることができた	4
・玩具やゲームのルールなどを理解して遊ぶ姿が見られた	3
・園庭で遊ぶことができて良かった、続けてほしいと思う	3
・普段と違う様子を見ることができ、嬉しく、楽しく感じた	3
・保育教諭の遊びの工夫を感じた	2
・避難訓練で非常袋の話などがあり、防災について考える機会が良かった	2
・お帳面、ボードに書いてある内容の遊びが見られて良かった	2
・保育教諭の体力がすごいと感じた	2
・リズム運動がハードで体をよく動かしていた、体を使える活動を増やして欲しい	2
・英語に触れる機会があることで、楽しさを感じた	2
・子ども同士のトラブルもあまりなく、解決しようとする姿に成長を感じた	1
・家ではできないダイナミックな遊びに参加できて良かった	1
・生活発表会の練習の様子が見られて良かった	1
・家ではできないことも諦めずに頑張っていたので良かった	1
合計	72

②食事について・・・47%

・とても美味しかった	25
・野菜などもバランスよく提供してくれているので安心である	10
・家ではなかなか食べない野菜なども食べていて驚いた	7
・家ではできない、あまり出ないものも給食で提供しているので良かった	6
・家で作るにあたり、レシピの参考になった	5
・彩りや香り、味も良かった	3
・たくさんの食材、旬の物が使われていて栄養面が良いと思った	3
・給食室が近くにあり、良い香りや食器の音がしてくるのも素敵だと思った	2
・子ども同士で食事中的会話があり、楽しんでいた	2
・美味しそうに食べている姿が見られて良かった	2
・子どもが苦手そうなものも細かく切っているのが食べやすく良かった	1
・少しずつ食べられるものが増えているのを実感している	1
・給食の用意が早くなっていることに子どもの成長を感じる	1
・お箸を上手に使いやすい工夫されたおかずであった	1
・前にもらったレシピを活用していて、よく家でも作っている	1
・炊飯に興味を持っているので実際に使う姿を見られて良かった	1
・お正月料理が美味しかった	1
・残さずに食べていたので安心した	1
・食べる前に給食のメニューの発表などがあればいいと思う	1
合計	74

～給食試食～

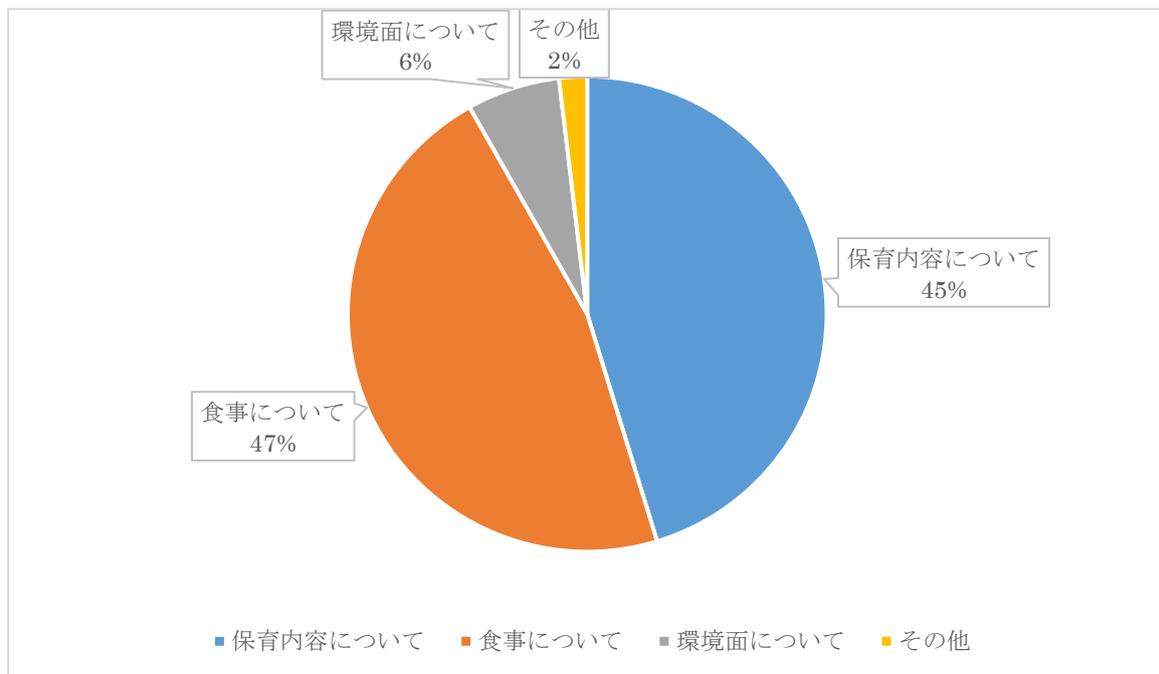
味付け	良い	32	濃い	2	薄い	0
色彩	良い	31	普通	2	あまり 良くない	0
硬さ	良い	32	硬い	0	柔らかい	1
温度	良い (熱い)	20	普通	19	やや 冷めている	0

③環境面について・・・6%

・子どもの個性、月齢もいろいろあるが、考えて玩具を置いてくれていると感じた	2
・公園に行く際に道中でのルールや安全を配慮していると感じた	2
・友だちと遊ぶことが好きになる環境づくりが良かった	1
・遊びを通して色や、サイコロの数字を覚えていたので驚いた	1
合計	6

④その他・・・2%

・朝散歩がないため、外で体を動かす機会を増やしてほしい	2
・中学生との交流期間で、他児とあまり遊べなくて残念だった	1
合計	3



～2019年度下半期の改善点等～

<保育内容について>

上半期の時と比べ、子どもたちの成長を感じる、前回よりも他の子どもたちと遊んでいる姿を見ることができて嬉しいというアンケート結果が多くあった。日々の成長はもちろんのこと、他の子どもたちと遊ぶ姿の背景には、こども園生活が慣れてきたことや、遊びの提供からの楽しさで、良い意味で保護者の存在を忘れて遊びに集中できる姿があったとのコメントもある。そのためか保育参加中に保護者にべったりで、普段の姿をあまり見られなかったという声は減ったように感じた。コメントでもあるように、集団生活の中で、子どもたち一人ひとりの様子や姿を大切に、関わりを持ちながら過ごしていきたいと思う。

<食事について>

上半期と変わらず、美味しかったというコメントをたくさん頂いている。家庭で食べない苦手なものでもこども園では食べていることや、野菜や他の食材でのバランスがしっかりしているので保護者の方も安心して頂いているというコメントを頂いている。幼児クラスでは食育があるので、旬の食材に触れたり、知る機会もある。また、ふじ組では三食群をお当番がすることで、身近になっていくものであるが、乳児クラスでは保育教諭が子どもたちに伝えることが重要であるので、引き続き、詳しく食材に子どもたちが興味を持てるような環境づくりを心掛けていきたいと思う。

<環境面について>

子どもたちの年齢に合わせての玩具の用意は、子どもたちの活動や成長にとっても大切なことなので、継続していきたいと思う。公園などの園外でのルールは幼児クラスだから、ではなく乳児クラスの時から「赤信号だ、止まれだね」「車きてるから壁にぺったんこしよう」など子どもたちと話をしたり、会話を大切にしていくことで、幼児クラスになったときにも繋がっていくと思うので、保育教諭がその気持ちを大切に、周りの状況を自分で見て、行動がとれるような環境づくりを意識していきたいと思う。

<その他>

上半期の反省から、幼児クラスでは天気の良い日には朝、夕の時間に園庭へ出るクラスをローテーションすることで体を動かす機会や、園外での季節の変化や心地よさを感じられるようにしていたが、どうしても、朝、夕だけでは不十分に感じる場面もあるので、室内で、サーキットやリズム活動を取り入れたりなどをしているので、継続していきたい。

保育参加の日数で、どうしても行事や交流なども重なってしまい、子どもとの活動が不十分になることもあるので、1週間前にでも「この日は交流があります」などを保護者に伝えることができれば緩和されるのではないかなと思う。